

# SPECIALIST NOW VOL.6

「SPECIALIST NOW」では、当院の専門・認定看護師会の各分野の活動を2カ月毎にお知らせしていきます♪

## <クリティカルケア認定看護師:辰野綾>

院内の急変や重症患者さんに対応するためコードハリー・コードブルーの対応と症例振り返りカンファレンス、RSTラウンド、術後患者さんや三次救急で搬送された重症患者さん・ご家族対応などを行っています。  
また、7月と8月に新人研修でBLS・フィジカルアセスメントの研修を行いました。  
みなさん元気に積極的に参加して頂き、私も楽しかったです。ありがとうございます。  
フィジカルアセスメント研修ではバイタルサイン測定の基本的手技、バイタルサインの考え方をお伝えしました。先輩ナースのみなさんも、ぜひバイタルサインが示している意味をもう一度振り返ってみてください。  
みなさんの細かな「気づき」で患者さんの急変や状態悪化を防ぐことができます。「あれ？変だな？」と感じたら誰かに相談・報告してみてください。予期せぬバイタルサインの変動や「おかしいな」と思ったらいつでもコードハリーに連絡をお待ちしています。【5647ころよいな】みなさんとともに防げる急変を減らしたいと思っています。



7月14日BLS研修の様子  
「絶え間ない胸骨圧迫！」

**重要!** 生命維持のABCD

- 気道(Airway)
- 呼吸(Breathing)
- 循環(Circulation)
- 中枢神経機能異常  
(Dysfunction of centra
- 体温管理  
(Exposure & environmental)

(フィジカルアセスメント研修資料から一部抜粋)  
何かおかしいと思った時や急変時にはABCDEを確認しましょう

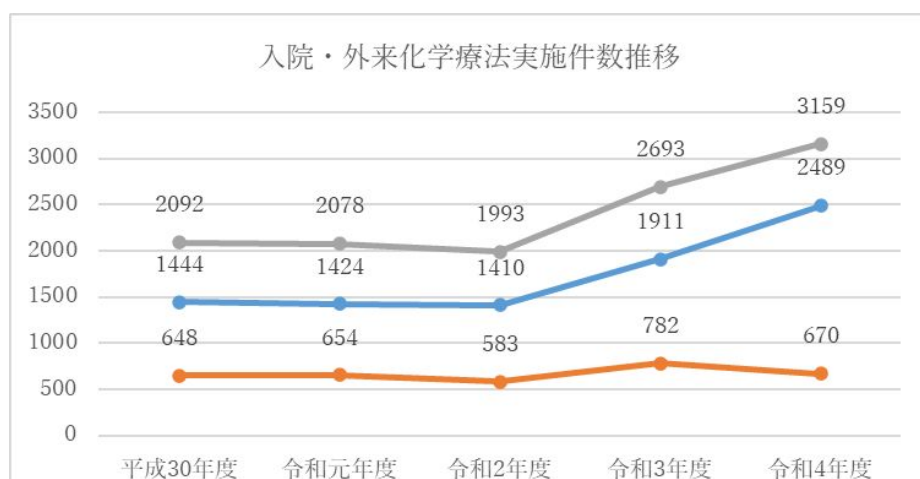
### コードハリー要請件数

令和4年度4月～7月 4件  
令和5年度4月～7月 5件

要請件数の増加を目標にしています。

## <がん薬物療法看護認定看護師:本田瑞恵>

院内のがん薬物療法が安全・安楽・確実に実施されるように活動を行っています。今年度も8月28日から「IVナースⅡ+C」の研修が開始されます。2022年12月に「がん薬物療法に伴う血管外漏出に関する合同ガイドライン2023年版」が発刊され、院内の抗がん剤血管外漏出時の対応マニュアルを変更しています。そのため研修の講義内容も昨年度から変更し、皆様に最新の情報をお伝えできるようにしていきます。昨年度同様に研修では実技認定を行い、血管アセスメントを一緒に行うことで、抗がん剤を第一に目的とする末梢静脈確保を皆さんが安全に確実に実施できるように支援いたします。



左のグラフは当院の過去4年間の入院・外来化学療法件数の推移です。ここ2年間で外来化学療法の件数が大幅に増加しています。日々外来では院内認定を受けた看護師が化学療法を受ける患者さんへ末梢静脈確保を行い、タスクシフトに貢献、活躍しています。



当院の専門・認定看護師分野	救急看護	クリティカルケア	感染管理	WOCケア	糖尿病看護	がん薬物療法看護	緩和ケア	手術看護	精神看護専門看護師	がん看護専門看護師	嚥下・摂食障害看護
	2名	1名	1名	1名	1名	1名	2名	1名	1名	1名	1名